

平成28年8月の鉱工業活動
図表集

平成28年10月17日

経済解析室

URL : <http://www.meti.go.jp/statistics/tyo/iip/result-1.html>

平成28年8月の鉱工業指数(確報)各指数の状況

生産・出荷・在庫・在庫率指数

月次	生産	出荷	在庫	在庫率
季調済指数	97.8	94.7	111.5	113.6
前月比	1.3%	▲1.1%	0.3%	▲3.2%
指数水準	H28.1 98.3以来 I H20.2 117.3 II H20.1 117.0 III H20.3 116.2	H28.5 93.5以来 ①H21.2 79.2 ②H21.3 79.7 ③H21.4 80.7	H28.6 113.9以来 I H20.12 119.8 II H21.1 119.5 III H20.11 119.1	H27.10 113.0以来 ①H20.2 94.6 ②H20.4 95.9 ③H20.5 97.0
前月比の動き	2か月ぶり+ (H28.6以来)	3か月ぶり▲ (H28.5以来)	3か月ぶり+ (H28.5以来)	2か月ぶり▲ (H28.6以来)
前月比幅	H28.6 2.3%以来 I H23.5 6.8% II H21.4 4.4% III H23.6 4.2%	H28.5 ▲2.6%以来 ①H23.3 ▲15.7% ②H21.1 ▲9.5% ③H20.12 ▲7.1%	H28.5 0.4%以来 I H23.5 4.7% II H28.3 2.9% III H24.3 2.5%	H26.9 ▲5.4%以来 ①H23.6 ▲11.7% ②H21.6 ▲6.7% ③H21.3 ▲6.0%
前年同月比(原指数)	4.5%	1.6%	▲1.6%	▲2.3%
前年同月比の動き	5か月ぶり+ (H28.3以来)	9か月ぶり+ (H27.11以来)	2か月連続▲ (H28.7~当月)	9か月ぶり▲ (H27.11以来)
前年同月比幅	H26.3 7.4%以来 I H22.3 29.2% II H22.2 28.8% III H22.4 23.8%	H27.6 1.7%以来 I H22.3 28.4% II H22.2 27.0% III H22.4 25.4%	H28.7 ▲1.8%以来 ①H21.12 ▲17.6% ②H22.1 ▲16.8% ③H21.11 ▲16.4%	H26.4 ▲3.4%以来 ①H22.2 ▲34.0% ②H22.3 ▲33.8% ③H22.1 ▲32.1%

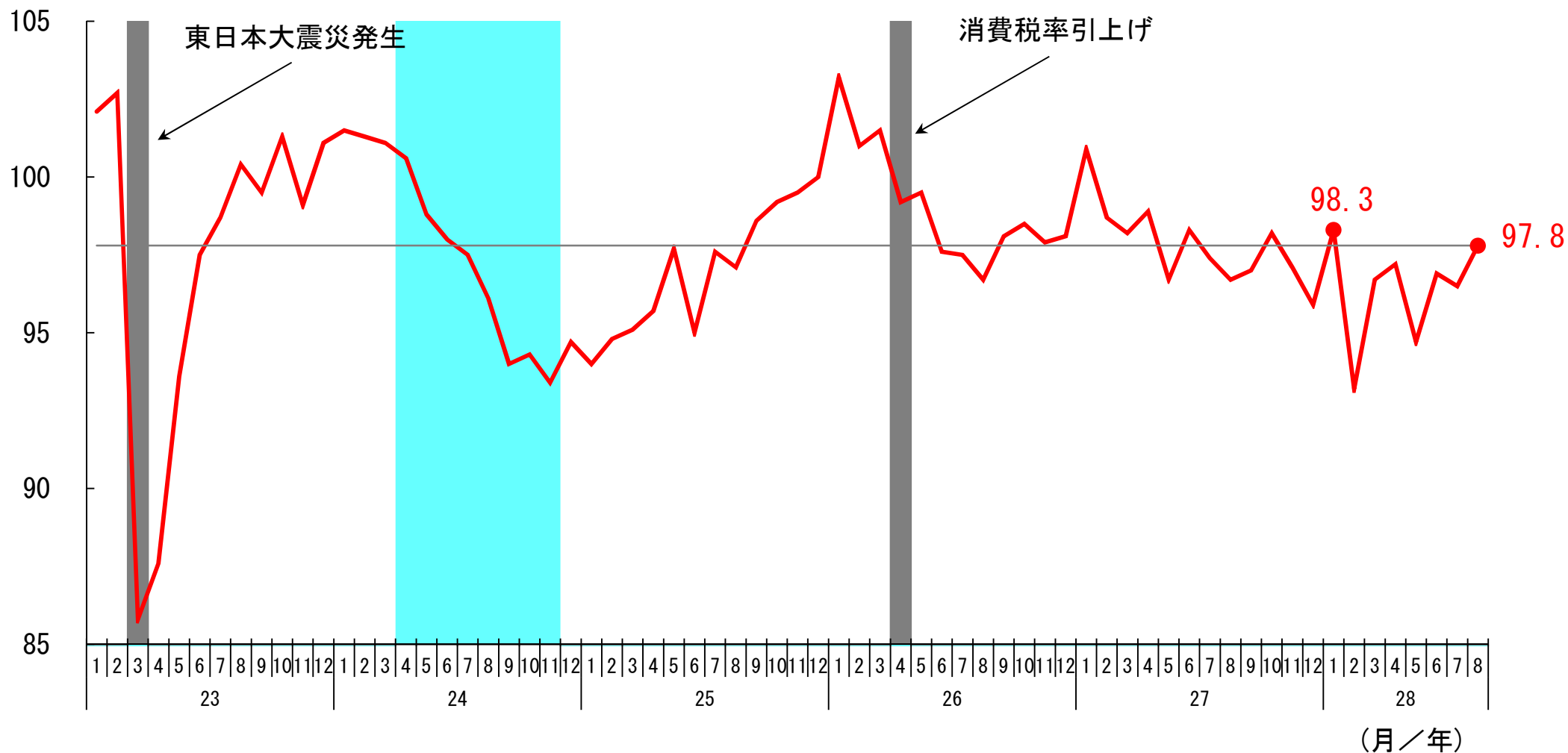
1) ▲はマイナス

2) I~IIIは22年基準における最大値から上位3位まで、①~③は最小値から下位3位までの数値

鉱工業生産指数の動向

- ・平成28年8月の鉱工業生産指数は97.8(前月比1.3%)と2か月ぶりの上昇。
- ・平成28年1月の98.3以来の指数水準。

(22年=100、季節調整済)



(注) 1. 鉱工業指数(IIP)とは、月々の鉱工業の生産、出荷、在庫等を基準年(現在は平成22年)の12か月平均=100として指数化したもので、事業所の生産活動、製品の需給動向など鉱工業全体の動きを示す代表的な指標。
 2. 水色のシャドー部分は景気後退局面。

平成28年8月の鉱工業生産指数を大きく動かした品目（業種別）

		業種・品目名	前月比	寄与率
鉱工業生産を上昇方向へ引っ張った3業種の中で 上昇への影響度が大きい 2品目	1位の業種	電子部品・デバイス工業	6.2%	35.9%
	品目	電子部品	7.0%	19.4%
		集積回路	4.4%	10.0%
	2位の業種	情報通信機械工業	14.0%	26.9%
	品目	電子計算機	19.4%	16.8%
		民生用電子機械	12.2%	5.8%
3位の業種	化学工業	2.7%	25.5%	
品目	化粧品	5.9%	13.1%	
	プラスチック	7.2%	7.4%	
鉱工業生産を低下方向へ引っ張った3業種の中で 低下への影響度が大きい 2品目	1位の業種	輸送機械工業	▲ 1.7%	▲ 25.0%
	品目	乗用車	▲ 4.9%	▲ 28.8%
		船舶・同機関	▲ 1.4%	▲ 1.5%
	2位の業種	食料品・たばこ工業	▲ 1.6%	▲ 7.6%
	品目	清涼飲料	▲ 2.5%	▲ 3.7%
		酒類	▲ 2.2%	▲ 2.4%
3位の業種	金属製品工業	▲ 1.1%	▲ 3.2%	
品目	建設用金属製品	▲ 7.2%	▲ 3.9%	
	その他の金属製品	▲ 1.0%	▲ 1.2%	

寄与率：生産全体の変動に対して影響を及ぼした、各品目の影響の度合い。全93業種の寄与率を足すと、当月が上昇なら100%、低下なら▲100%になる。

平成28年8月の鉱工業生産指数を大きく動かした品目（全体・財別）

<全体>

		品目名	前月比	寄与率
鉱工業生産を 上昇 方向 に引っ張った3品目	1位	電子部品	7.0%	19.4%
	2位	電子計算機	19.4%	16.8%
	3位	化粧品	5.9%	13.1%
鉱工業生産を 低下 方向 に引っ張った3品目	1位	乗用車	▲ 4.9%	▲ 28.8%
	2位	化学機械	▲ 57.2%	▲ 11.1%
	3位	生活関連産業用機械	▲ 12.5%	▲ 5.0%

<財別＝用途別>

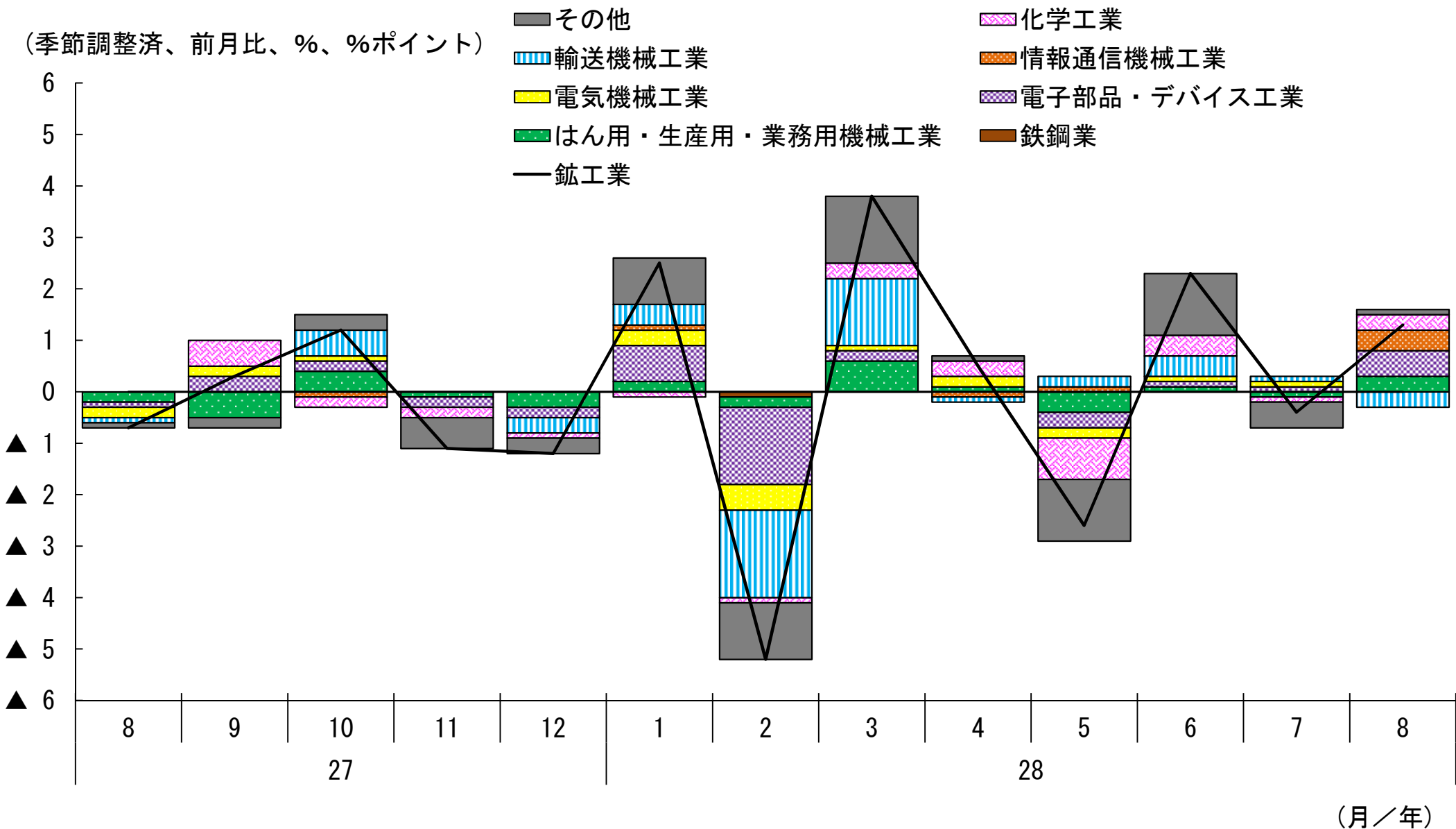
	解説	品目名	前月比	寄与率
生産財	原材料として投入される製品	生産財	2.1%	77.7%
		アクティブ型液晶素子（中・小型）	17.6%	9.5%
		モス型半導体集積回路（メモリ）	9.0%	8.5%
資本財 （除. 輸送機械）	クレーンや金属工作機械など 設備投資に向けられる製品	資本財（除. 輸送機械）	1.7%	19.3%
		半導体製造装置	1.7%	19.3%
		ノート型パソコン	11.9%	15.8%
非耐久消費財	食料品や衣料品など 家計で購入される製品	非耐久消費財	0.3%	3.1%
		美容液	28.2%	8.8%
		クレンジングクリーム	21.9%	3.1%
建設財	鉄骨やセメントなど 建設投資に向けられる製品	建設財	▲ 0.7%	▲ 3.0%
		橋りょう	▲ 10.5%	▲ 2.4%
		鋼管製管継手	▲ 5.8%	▲ 0.7%
耐久消費財	テレビや電気冷蔵庫など 家計で購入される製品	耐久消費財	▲ 2.5%	▲ 20.2%
		小型乗用車	▲ 17.1%	▲ 14.4%
		普通乗用車	▲ 3.7%	▲ 14.2%

寄与率：生産全体の変動に対して影響を及ぼした、各品目の影響の度合い。全93業種の寄与率を足すと、当月が上昇なら100%、低下なら▲100%になる。

(注)全体の各品目は、個別品目ではなく、個別品目を統合した分類によるもの。

鋁工業生産指数への業種別寄与度分解

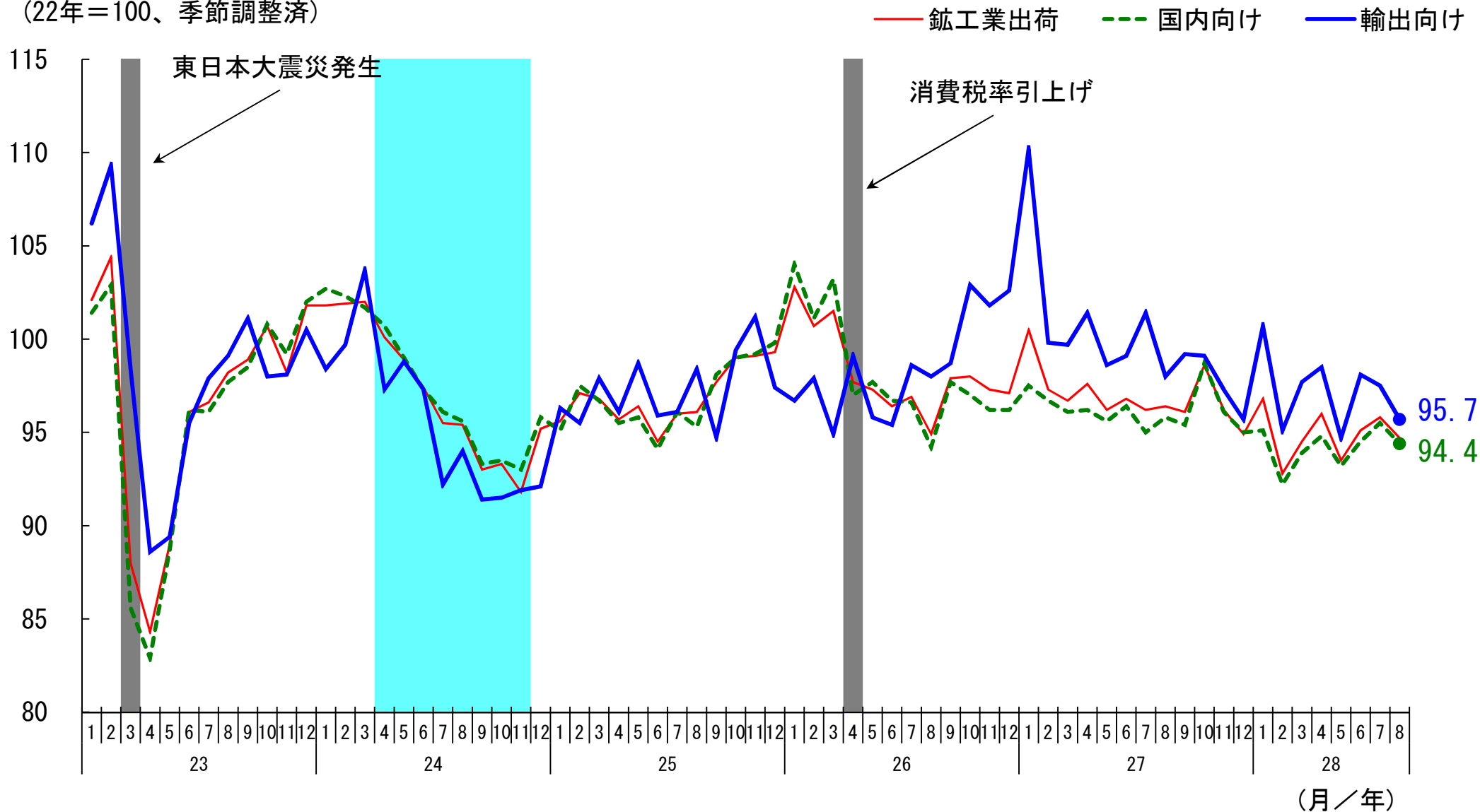
- 平成28年8月の生産指数は輸送機械工業が低下したものの、電子部品・デバイス工業などが上昇したため、前月比1.3%の上昇。



国内向け／輸出向け出荷の動向

・平成28年8月の鉱工業出荷を国内向け／輸出向け別にみると、国内向けは94.4(前月比▲1.2%)と3か月ぶりの低下、輸出向けは95.7(前月比▲1.8%)と2か月連続の低下。

(22年=100、季節調整済)



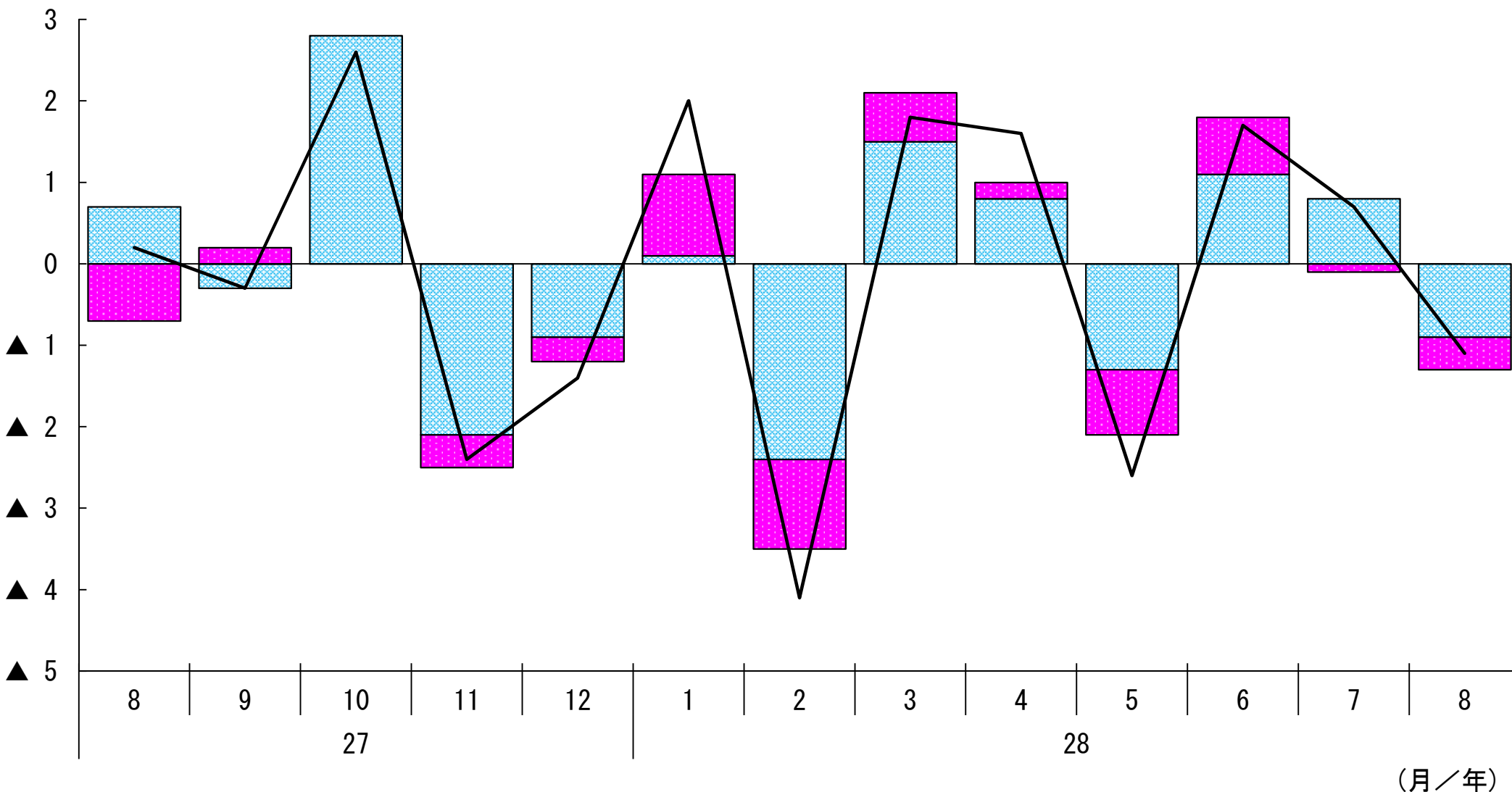
(注) 水色のシャド一部分は景気後退局面。

鉍工業出荷への国内向け／輸出向け別寄与度分解

- 平成28年8月の鉍工業出荷は国内向け、輸出向けともに低下したため、前月比▲1.1%の低下。

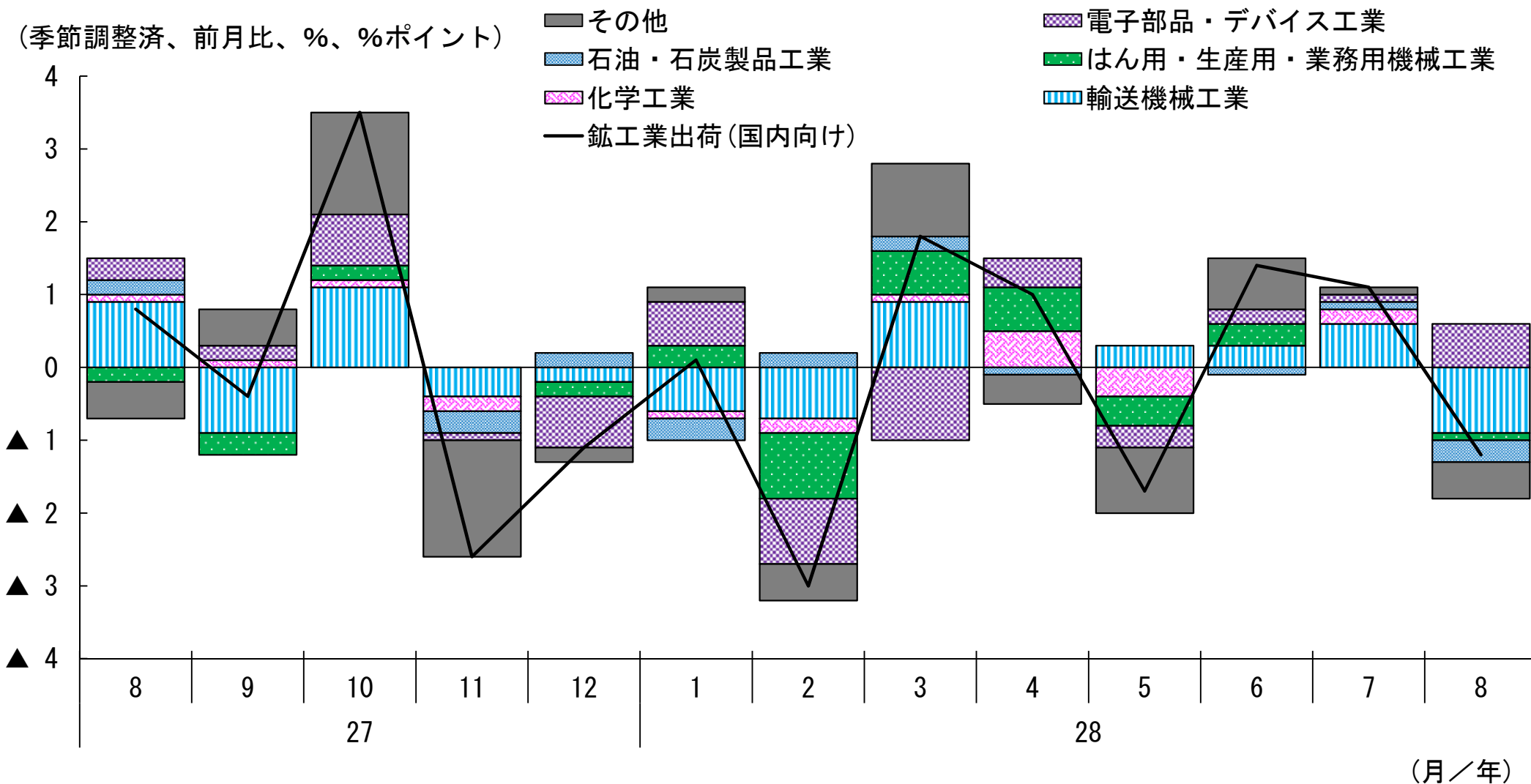
(季節調整済、前月比、%、%ポイント)

■ 輸出向け ■ 国内向け — 鉍工業出荷



国内向け出荷への業種別寄与度分解

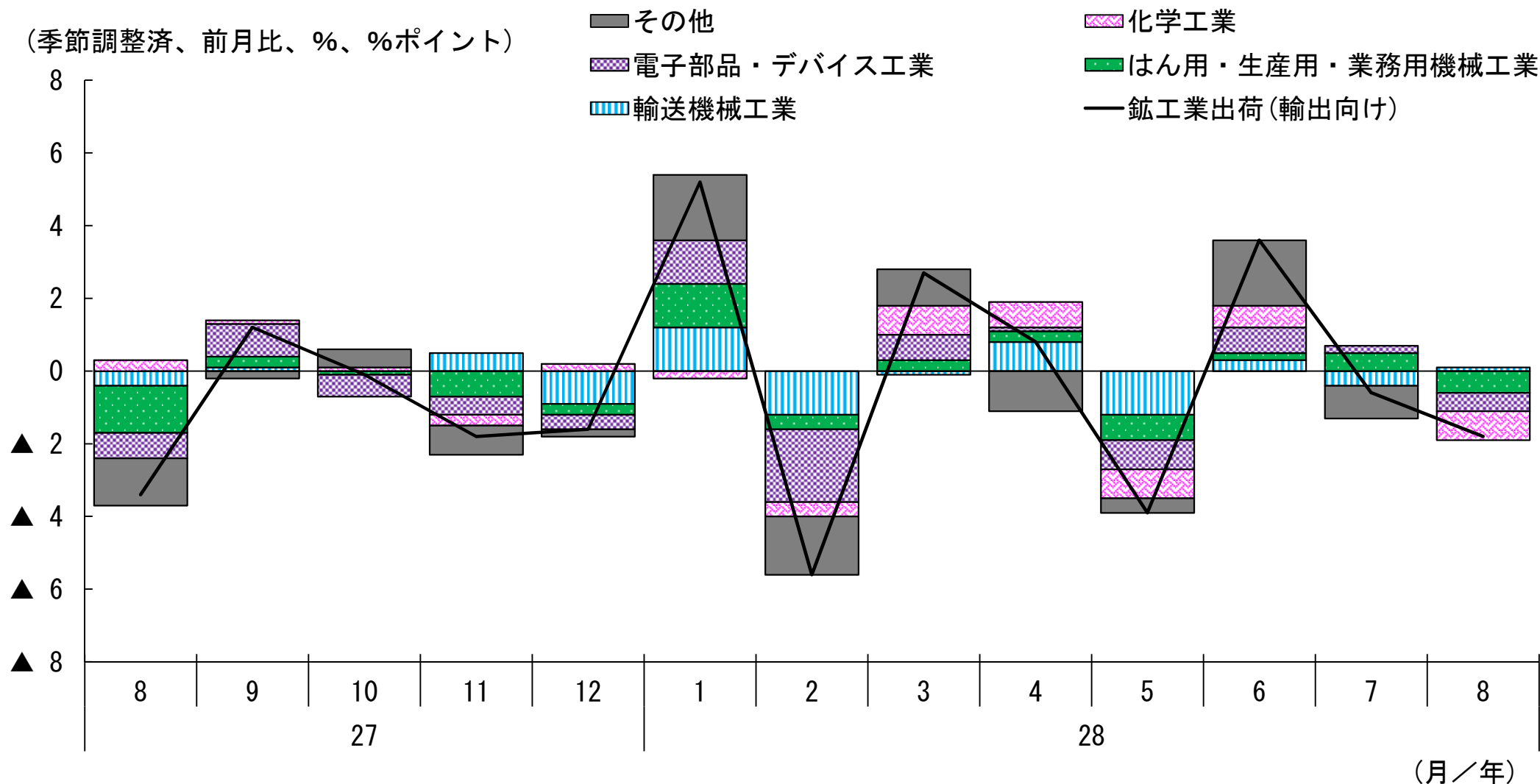
- 平成28年8月の国内向け出荷を、主要業種別にみると、輸送機械工業などが低下。



(注) 主要業種とは、国内向け出荷(ウエイト8028.51)のうち、ウエイトが大きい5業種を選定。
 具体的には、輸送機械工業(国内向け、ウエイト1658.38)、化学工業(同、同860.84)、はん用・生産用・業務用機械工業(同、同796.12)、石油・石炭製品工業(同、同574.89)、電子部品・デバイス工業(同、同457.59)。

輸出向け出荷への業種別寄与度分解

- 平成28年8月の輸出向け出荷を、主要業種別にみると、輸送機械工業が上昇したものの、化学工業などが低下。

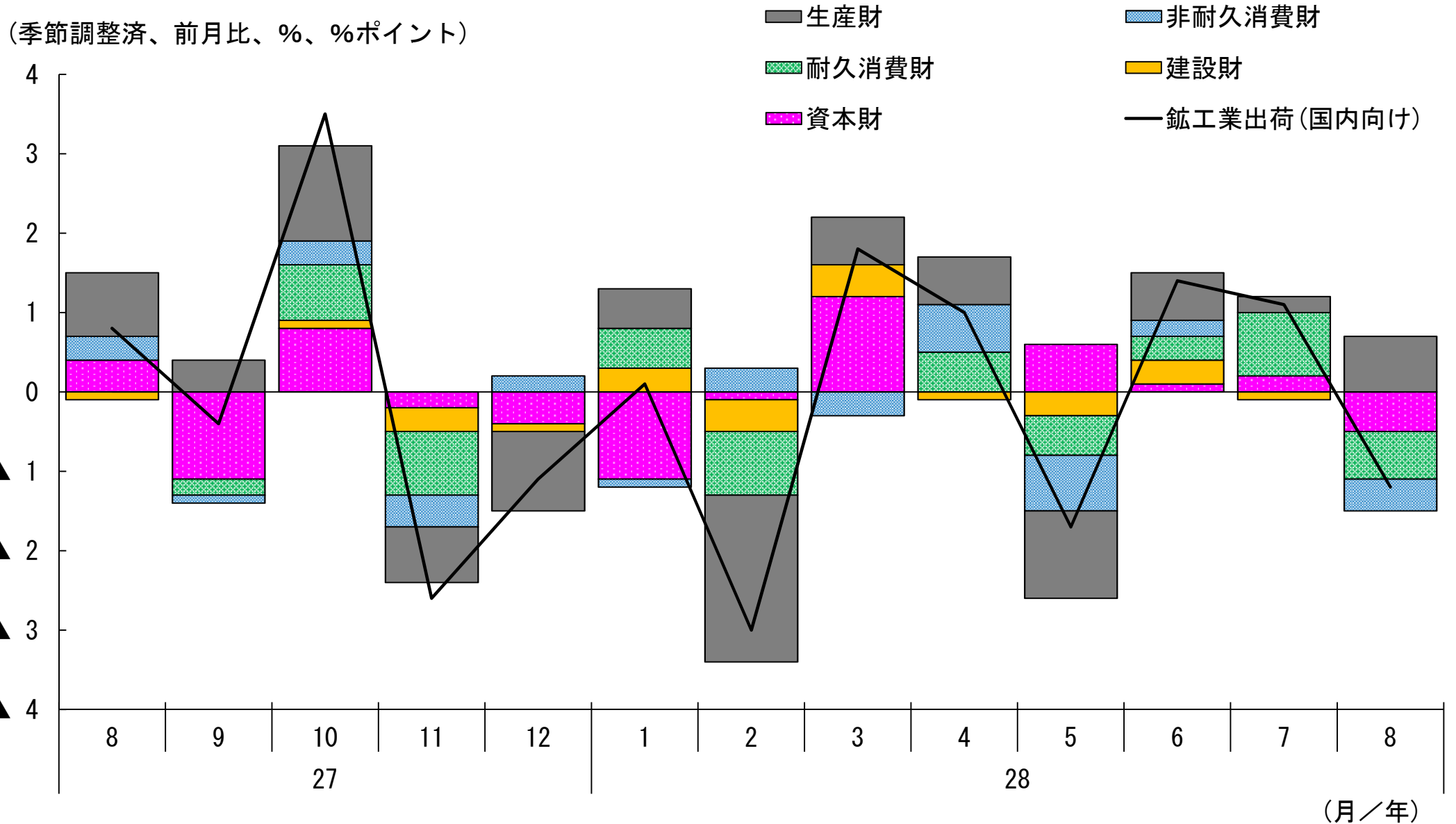


(注)主要業種とは、輸出向け出荷(ウエイト1971.49)のうち、ウエイトが大きい業種(上位4業種)を選定。

具体的には、輸送機械工業(輸出向け、ウエイト560.52)、はん用・生産用・業務用機械工業(同、同289.48)電子部品・デバイス工業(同、同253.51)、化学工業(同、同180.06)の4業種。

国内向け出荷への財別寄与度分解

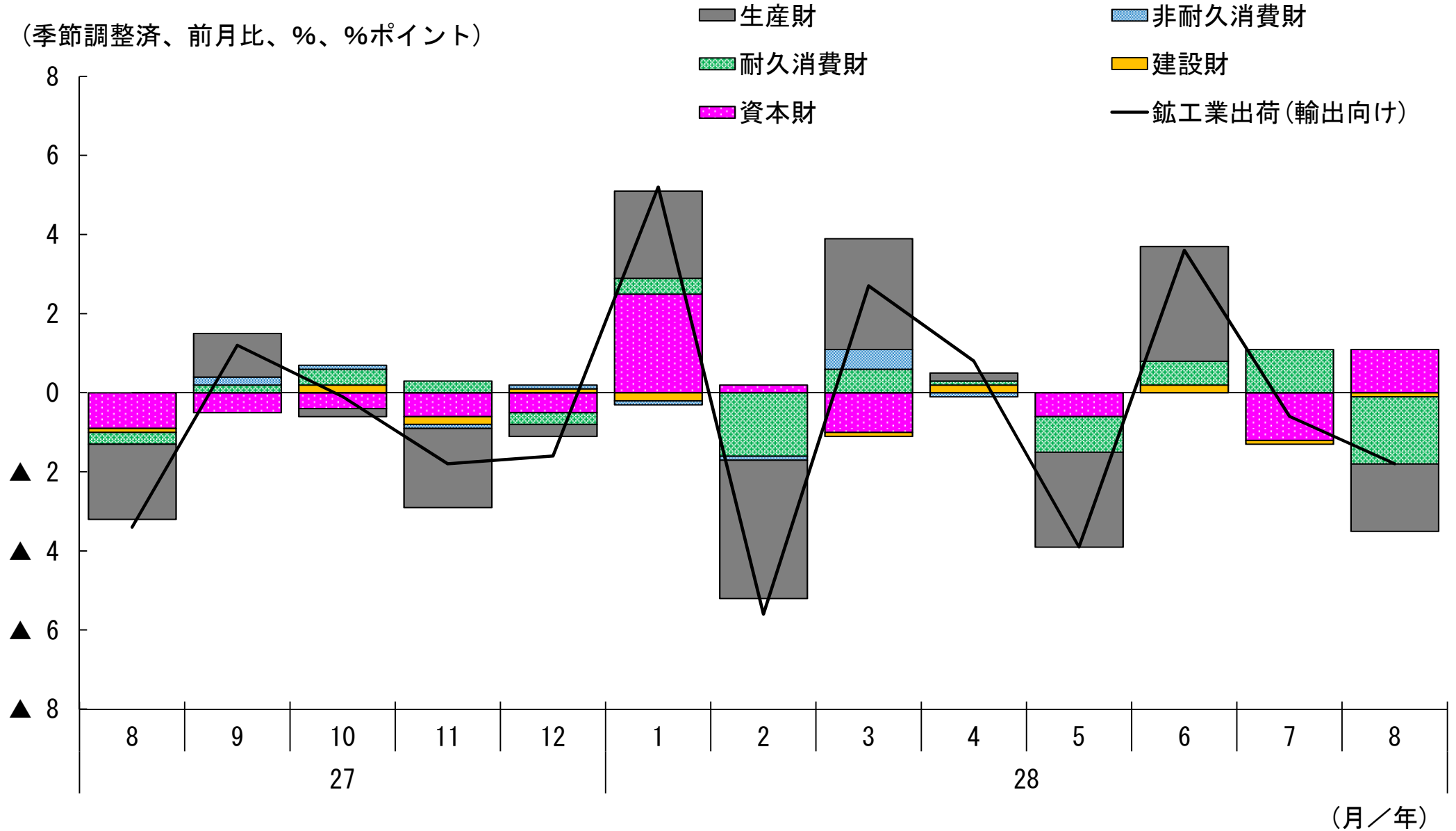
- 平成28年8月の国内向け出荷を、財別にみると、生産財が上昇したものの、耐久消費財などが低下。



輸出向け出荷への財別寄与度分解

- 平成28年8月の輸出向け出荷を、財別にみると、資本財が上昇したものの、耐久消費財などが低下。

(季節調整済、前月比、%、%ポイント)



平成28年8月の国内向け出荷への財別・業種別の変動寄与

財別分類	前月比(%)	寄与率(%)
鉱工業	▲ 1.2	▲ 80.3
耐久消費財	▲ 4.2	▲ 39.1
輸送機械工業	▲ 6.3	▲ 43.6
電気機械工業	▲ 10.6	▲ 10.1
資本財	▲ 2.5	▲ 32.9
はん用・生産用・業務用機械工業	▲ 3.1	▲ 20.7
輸送機械工業	▲ 2.7	▲ 9.4
非耐久消費財	▲ 2.8	▲ 27.5
食料品・たばこ工業	▲ 3.4	▲ 14.1
石油・石炭製品工業	▲ 6.8	▲ 11.9
その他用生産財	▲ 2.6	▲ 9.7
石油・石炭製品工業	▲ 4.6	▲ 10.4
プラスチック製品工業	▲ 5.0	▲ 1.5
建設財	▲ 0.2	▲ 0.9
窯業・土石製品工業	▲ 2.1	▲ 1.4
金属製品工業	▲ 0.6	▲ 1.2
鉱工業用生産財	2.0	58.5
電子部品・デバイス工業	9.6	42.4
非鉄金属工業	10.8	18.0

寄与率：出荷全体の変動に対して影響を及ぼした、財別・業種別の影響の度合い。全ての寄与率を足すと、当月が上昇なら100%、低下なら▲100%になる。

(注)試算値。

平成28年8月の輸出向け出荷への財別・業種別の変動寄与

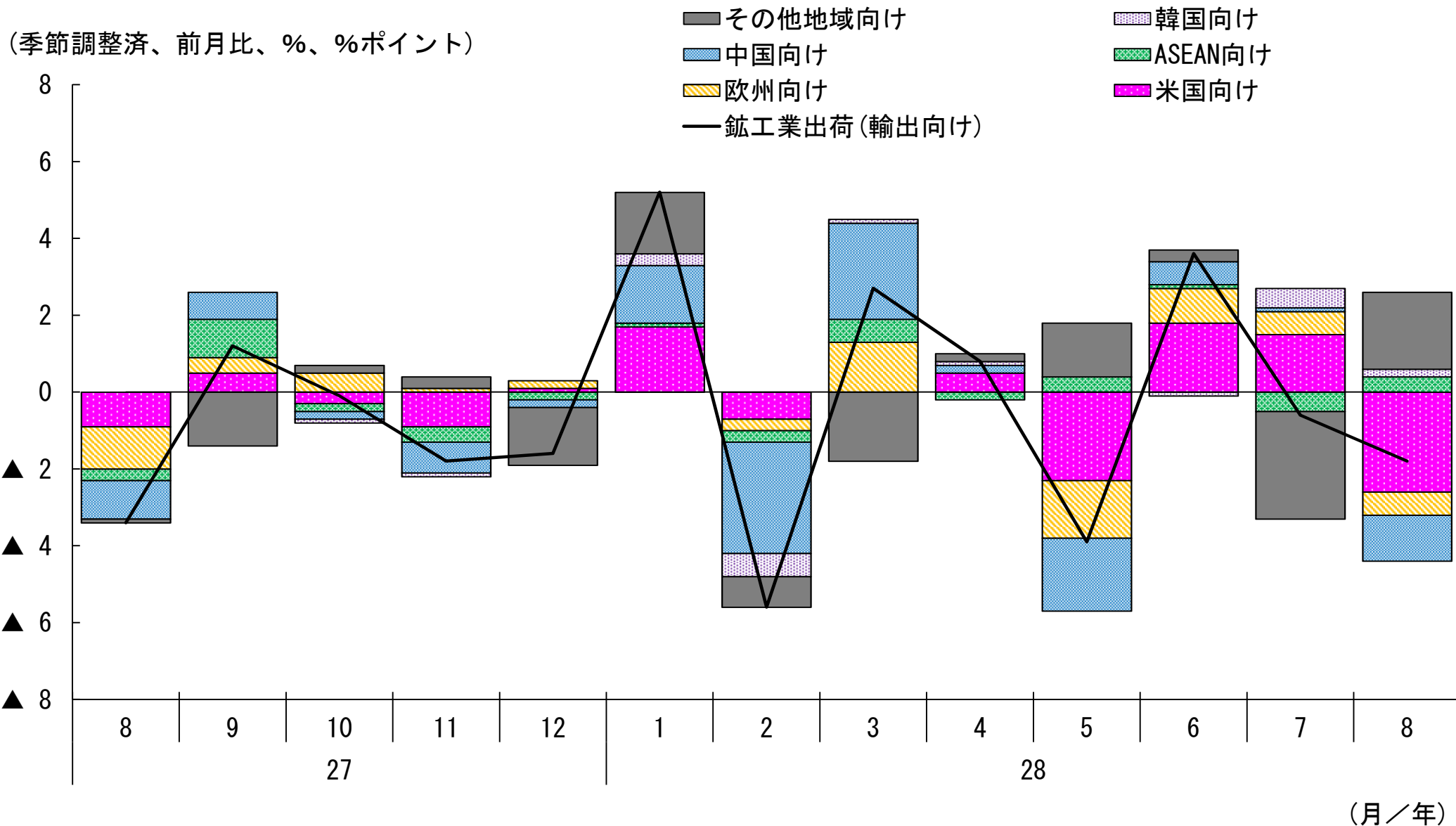
財別分類	前月比(%)	寄与率(%)
鉱工業	▲ 1.8	▲ 32.3
鉱工業用生産財	▲ 3.3	▲ 33.7
電子部品・デバイス工業	▲ 4.2	▲ 8.4
化学工業	▲ 5.7	▲ 8.1
耐久消費財	▲ 12.2	▲ 29.8
輸送機械工業	▲ 15.0	▲ 31.7
その他工業	▲ 6.5	▲ 0.8
建設財	▲ 3.2	▲ 1.1
プラスチック製品工業	▲ 7.6	▲ 0.9
鉄鋼業	▲ 11.9	▲ 0.8
非耐久消費財	0.9	0.5
石油・石炭製品工業	13.6	0.7
繊維工業	14.5	0.2
その他用生産財	13.2	7.0
石油・石炭製品工業	26.4	6.9
その他工業	2.4	0.3
資本財	5.8	18.9
輸送機械工業	29.1	22.4
情報通信機械工業	9.4	1.4

寄与率：出荷全体の変動に対して影響を及ぼした、財別・業種別の影響の度合い。全ての寄与率を足すと、当月が上昇なら100%、低下なら▲100%になる。

(注)試算値。

輸出向け出荷への地域別寄与度分解

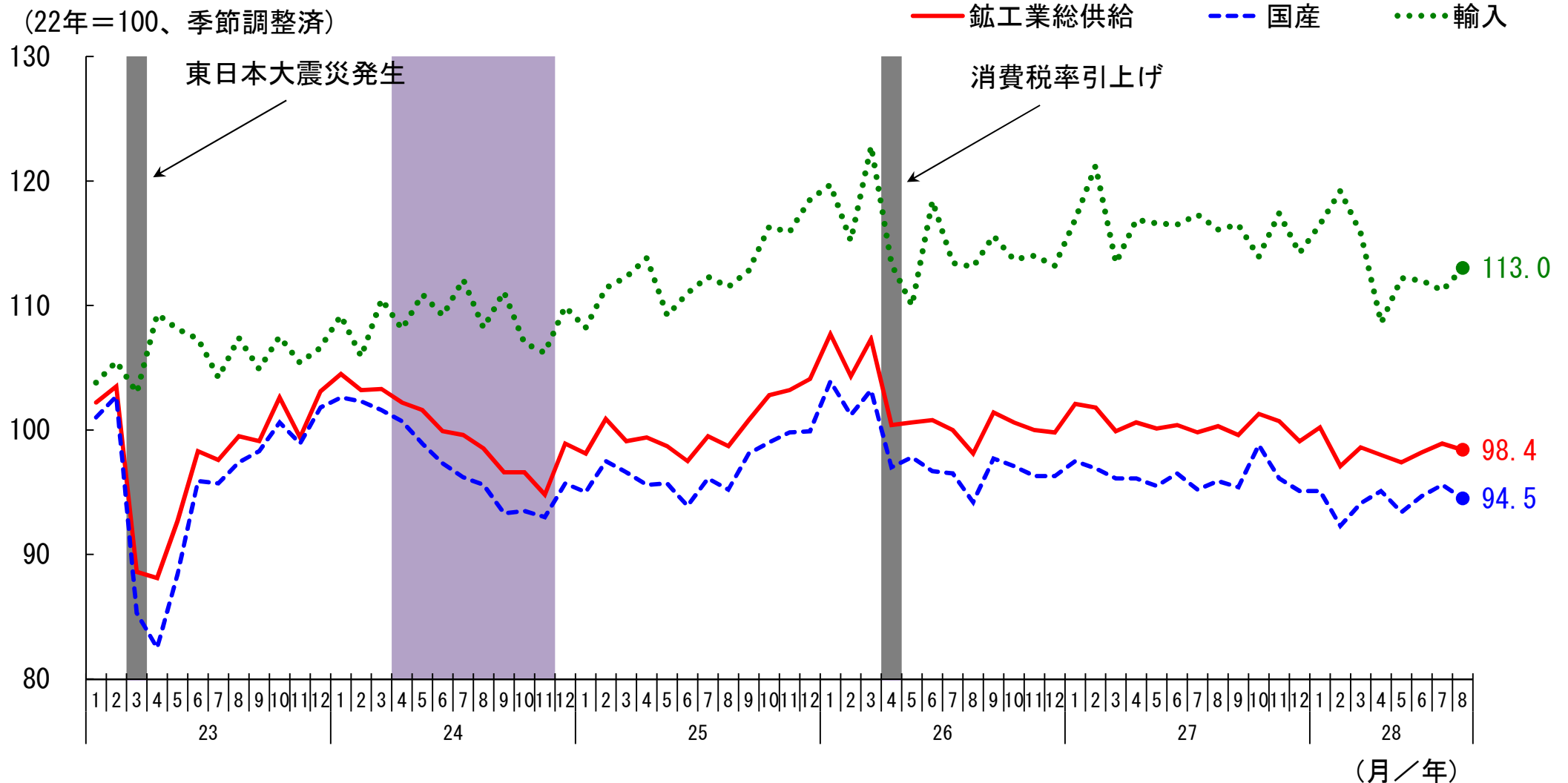
- 平成28年8月の輸出向け出荷を、地域別にみると、その他地域向けなどが上昇したものの、米国向けなどが低下。



(注) 試算値。

鋳工業総供給指数の動向

- ・平成28年8月の鋳工業総供給指数は98.4(前月比▲0.5%)と3か月ぶりの低下。
- ・内訳をみると、国産は94.5(前月比▲1.2%)と3か月ぶりの低下、輸入は113.0(前月比1.6%)と3か月ぶりの上昇。

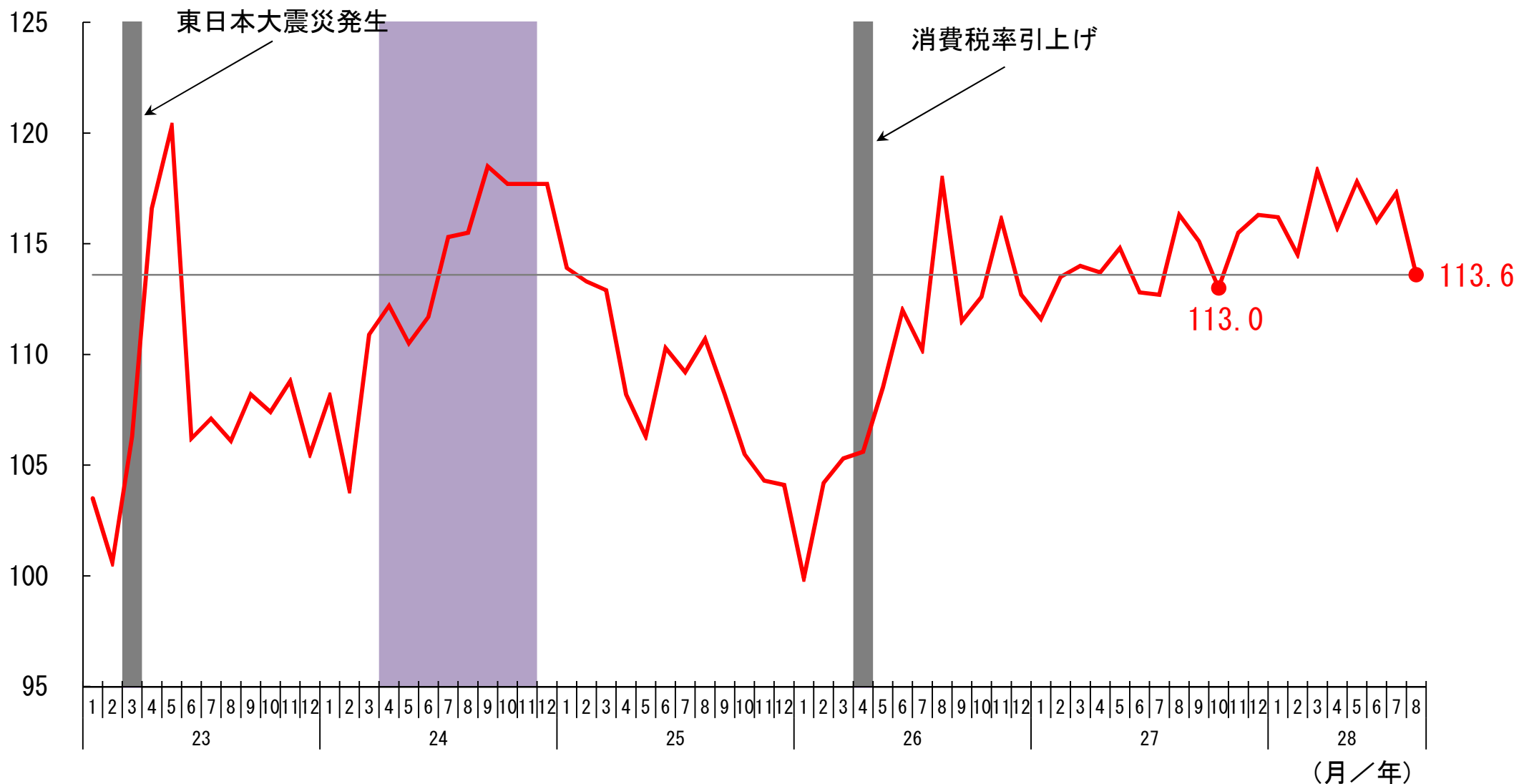


(注) 紫色のシャド一部分は景気後退局面。

鋳工業在庫率指数の動向

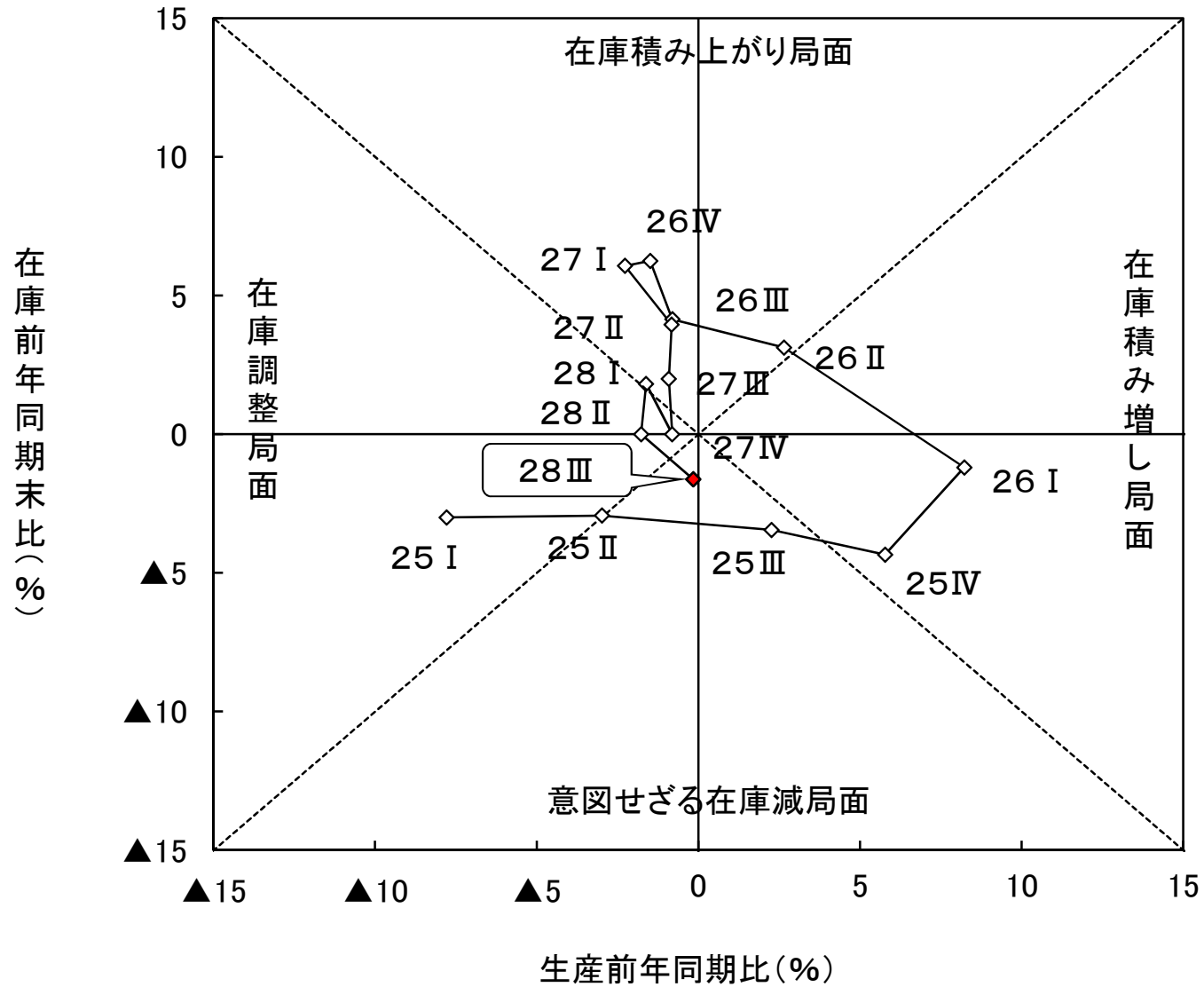
- ・平成28年8月の在庫率指数は113.6(前月比▲3.2%)と2か月ぶりの低下。
- ・平成27年10月の113.0以来の指数水準。

(22年=100、季節調整済)



(注) 紫色のシャド一部分は景気後退局面。

鋁工業の在庫循環図



(注) 「28年Ⅲ」の生産は7月と8月の平均値、在庫は8月末値を使用。

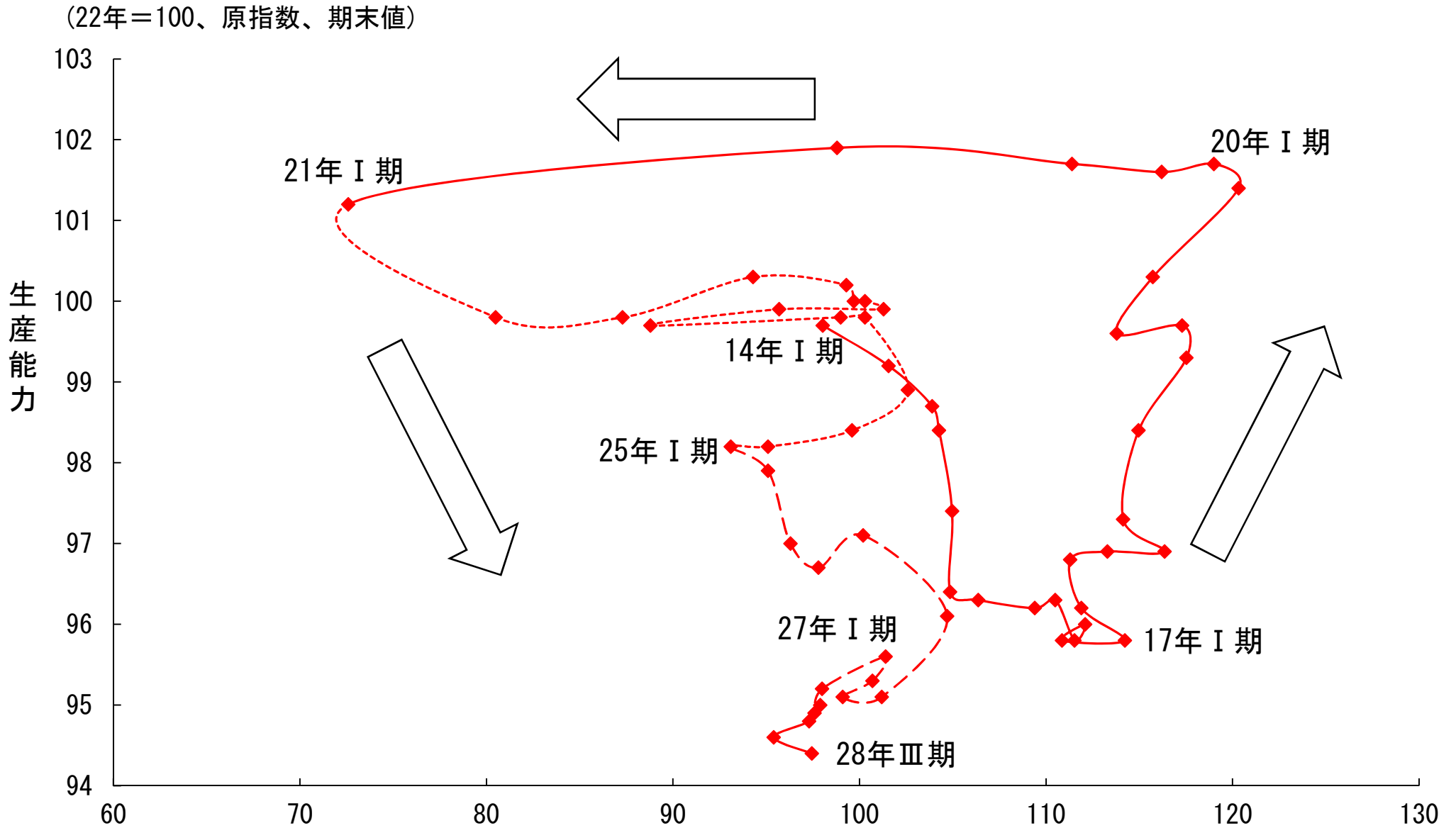
平成28年8月の製造工業稼働率・生産能力指数の状況

月次	稼働率		能力			
	機械工業	非機械工業	機械工業	非機械工業		
季調済指数	98.7	97.7	99.2	94.4 (原指数)	95.6 (原指数)	92.7 (原指数)
前月比	2.6%	2.2%	1.7%	0.0%	0.0%	▲ 0.1%
指数水準	H28. 1 99. 9以来 I H20. 2 119. 4 II H20. 1 118. 8 III H20. 3 118. 7	H28. 1 100. 3以来 I H20. 2 125. 7 II H20. 3 124. 6 III H20. 1 124. 4	H27. 9 99. 2以来 (超) H27. 3 99. 4以来 I H20. 1 110. 8 II H20. 2 110. 7 III H20. 3 110. 4	—	—	22年基準最低水準 ①H28. 8 92. 7 ②H28. 7 92. 8 ③H28. 4, 5, 6 93. 0
前月比の動き	3か月連続+ (H28.6~当月)	3か月連続+ (H28.6~当月)	3か月連続+ (H28.6~当月)	—	—	2か月連続▲ (H28.7~当月)
前月比幅	H28. 3 3. 2%以来 I H23. 5 14. 4% II H21. 4 9. 8% III H23. 6 6. 5%	H28. 3 4. 3%以来 I H23. 5 24. 0% II H23. 6 10. 2% III H21. 4 9. 9%	H28. 3 2. 3%以来 I H21. 4 8. 2% II H23. 5 4. 1% III H21. 5 3. 2%	—	—	H28. 7 ▲0. 2%以来 ①H26. 4 ▲1. 0% ②H21. 10, H22. 1, 7, H23. 1, H24. 4, H28. 4 ▲0. 4%
前年同月比(原指数)	4.5%	6.4%	2.1%	▲ 0.5%	0.0%	▲ 1.2%
前年同月比の動き	20か月ぶり+ (H26.12以来)	20か月ぶり+ (H26.12以来)	2か月ぶり+ (H28.6以来)	13か月連続▲ (H27.8~当月)	—	95か月連続▲ (H20.10~当月)
前年同月比幅	H26. 4 7. 2%以来 I H22. 3 43. 3% II H22. 2 42. 8% III H22. 4 29. 3%	H26. 6 8. 5%以来 I H22. 2 54. 0% II H22. 3 53. 6% III H24. 4 48. 8%	H26. 2 4. 9%以来 I H22. 3 29. 2% II H22. 2 28. 7% III H22. 1 20. 1%	H28. 7 ▲0. 8%以来 ①H21. 7, 8, H26. 11 ▲2. 1% ②H26. 1, 2, 4, 6, 10 ▲2. 0% ③H21. 9, H26. 12 ▲1. 9%	—	H28. 6 ▲1. 2%以来 (超) H28. 5 ▲1. 5%以来 ①H22. 12, H23. 1 ▲2. 1% ②H22. 9, 11, H23. 2, 5, 6, H26. 4 ▲2. 0%

1) ▲はマイナス

2) I～Ⅲは22年基準における最大値から3位まで、①～③は最小値から3位までの数値

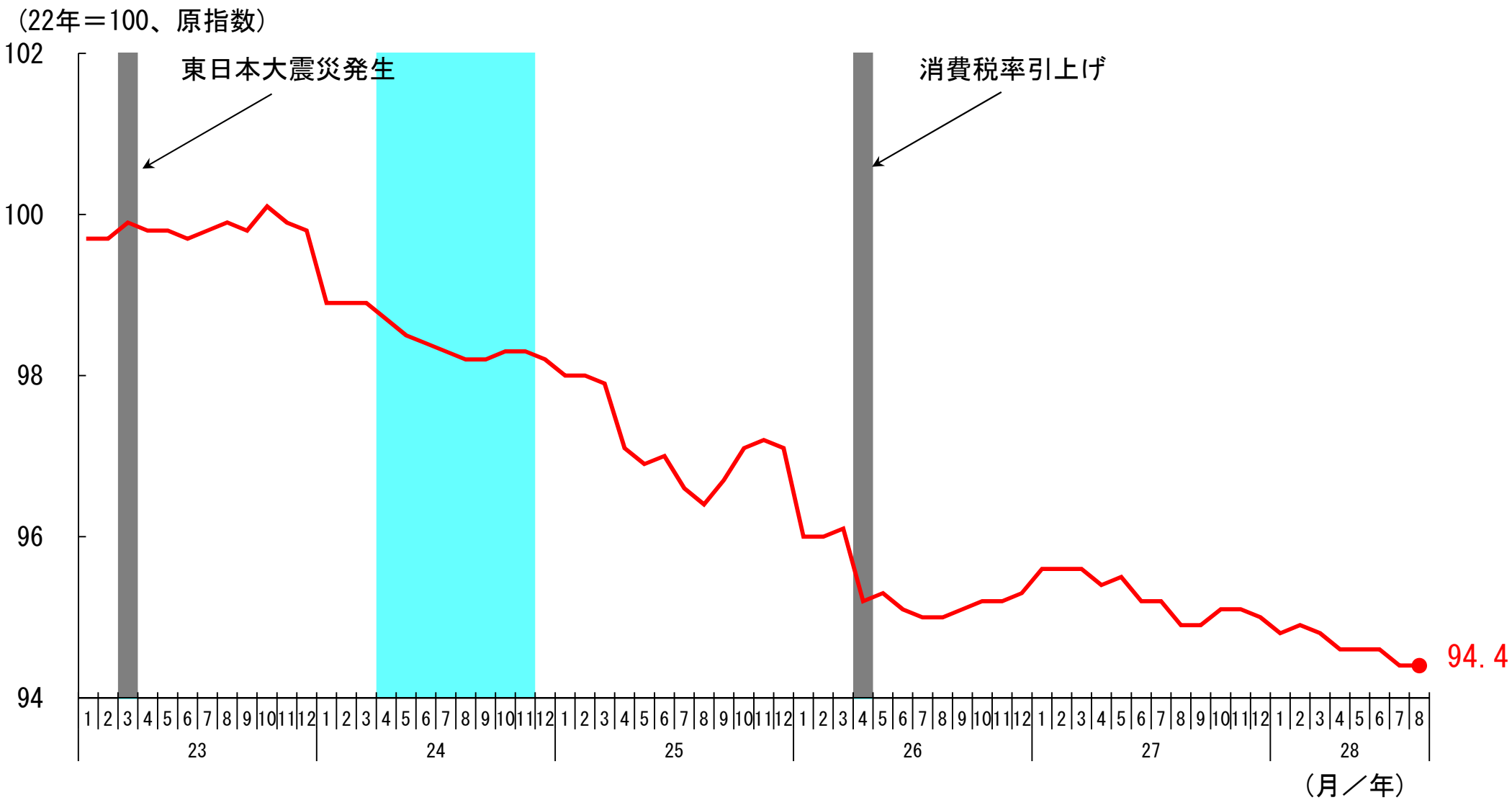
稼働率と生産能力の循環図(製造工業)



(注) 「28年III期」の生産能力は、平成28年8月末値、稼働率は平成28年7月と8月の平均値を使用。

製造工業生産能力指数の動向

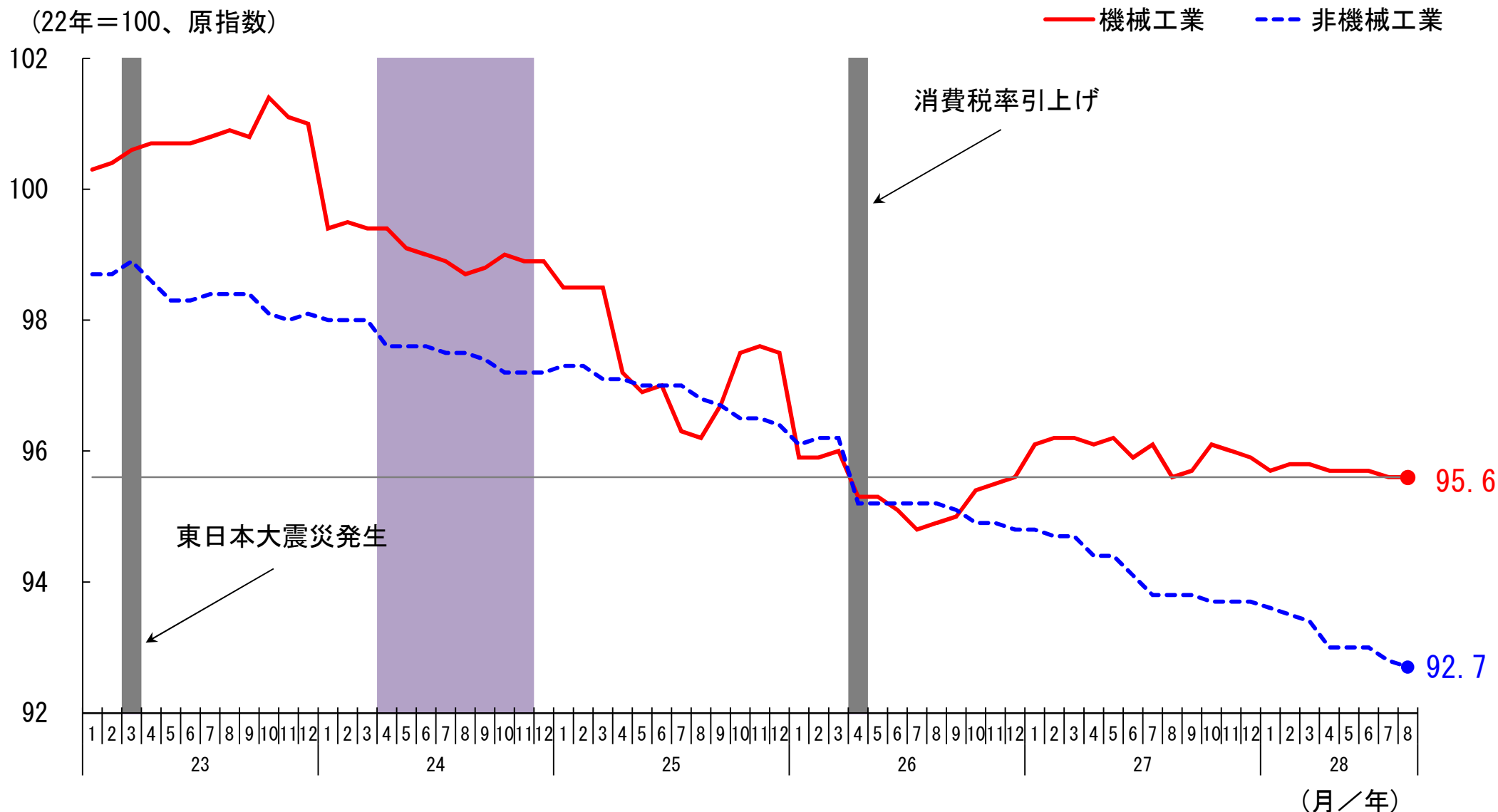
・平成28年8月の製造工業生産能力指数は94.4(前月比0.0%)と横ばい。



(注) 1. 製造工業生産能力指数とは、月々の製造工業の生産能力を基準年(現在は平成22年)の12か月平均=100として指数化したもの。
2. 水色のシャドー部分は景気後退局面。

機械工業と非機械工業の生産能力指数の動向

- 平成28年8月の機械工業の生産能力指数は95.6(前月比0.0%)と横ばい。
- 非機械工業の生産能力指数は92.7(前月比▲0.1%)と2か月連続の低下。

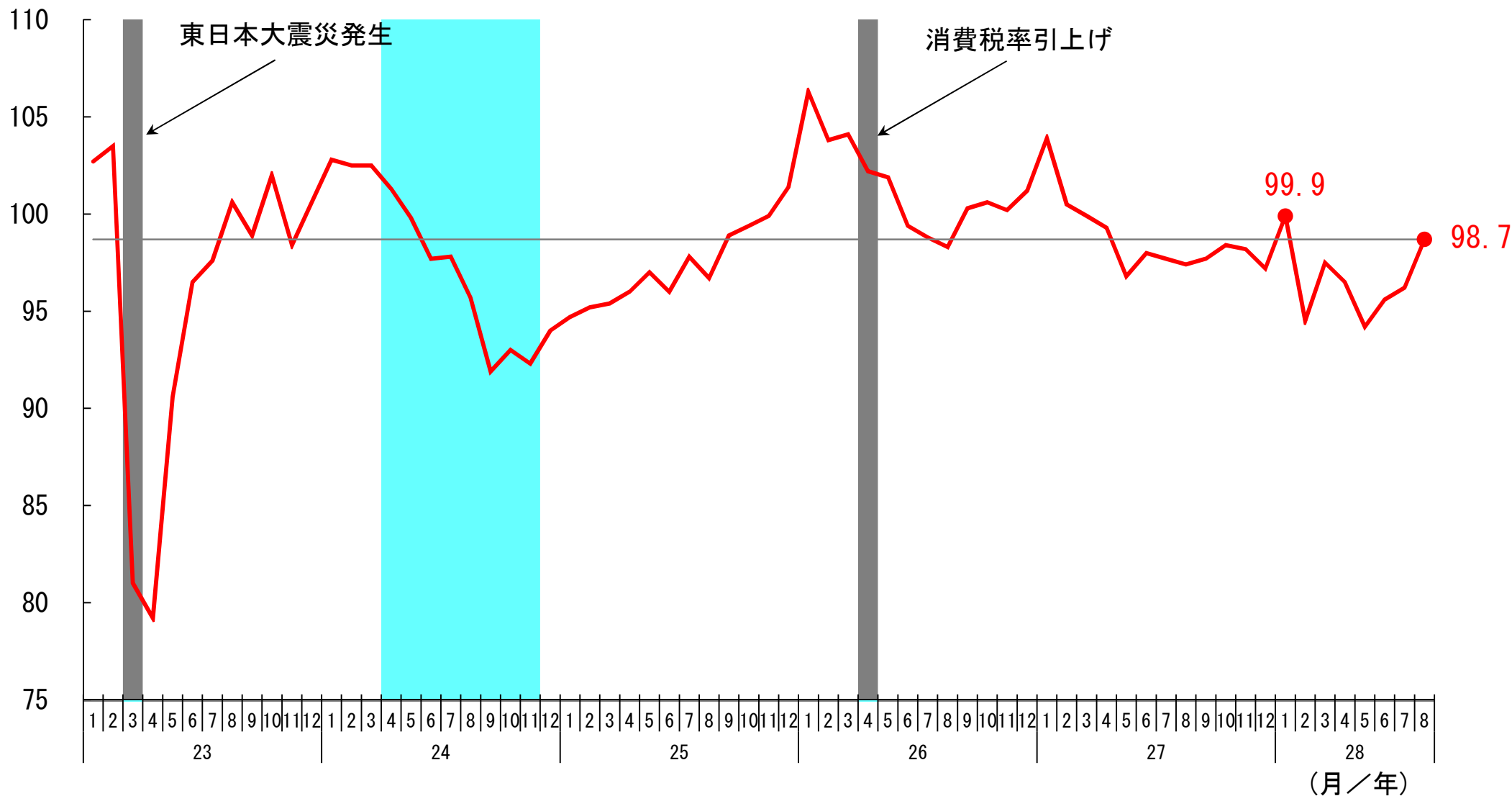


(注) 紫色のシャド一部分は景気後退局面

製造工業稼働率指数の動向

- ・平成28年8月の製造工業稼働率指数は98.7(前月比2.6%)と3か月連続の上昇。
- ・平成28年1月の99.9以来の指数水準。

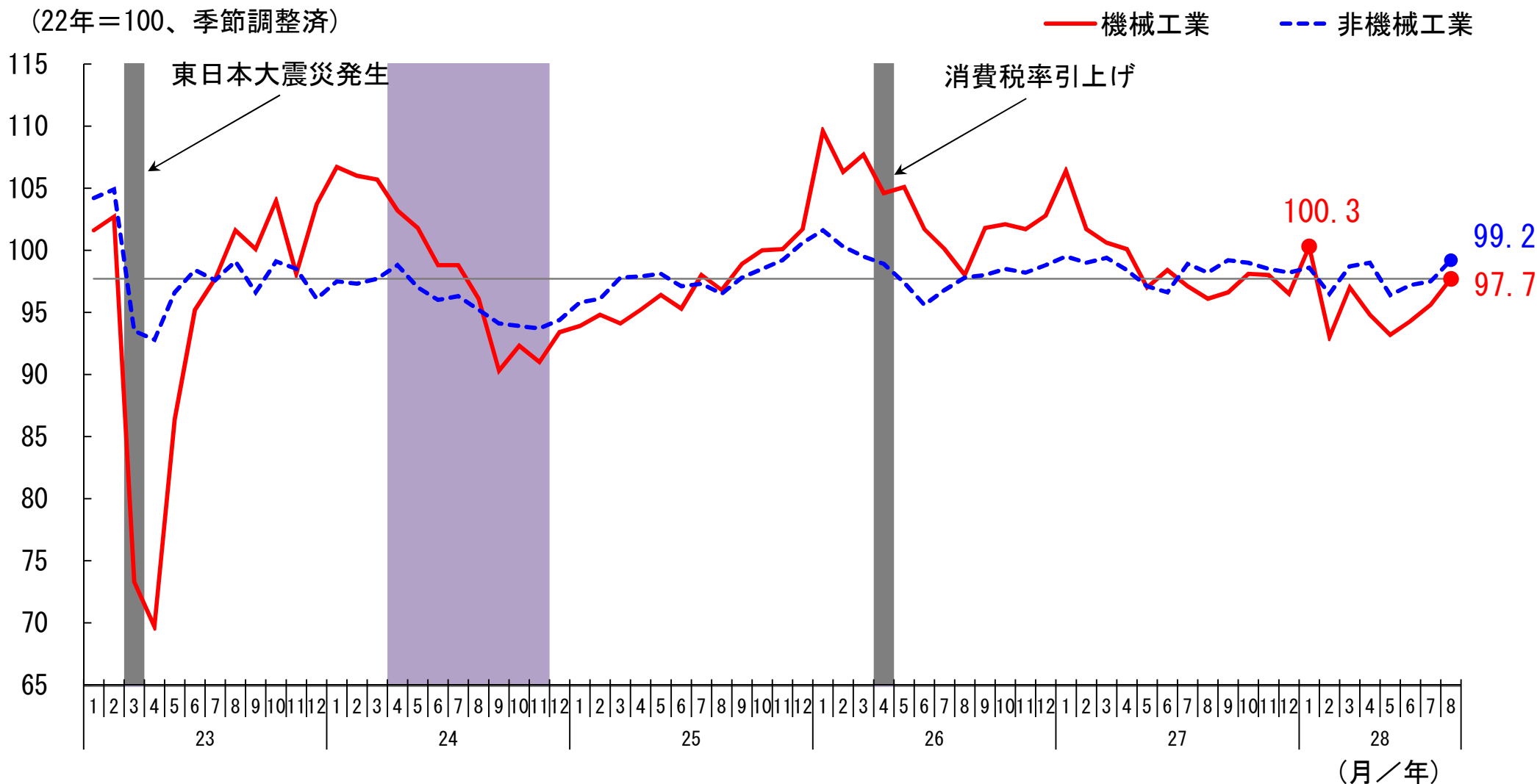
(22年=100、季節調整済)



(注)水色のシャド一部分は景気後退局面

機械工業と非機械工業の稼働率指数の動向

- 平成28年8月の機械工業の稼働率指数は97.7(前月比2.2%)と3か月連続の上昇。
平成28年1月の100.3以来の指数水準。
- 非機械工業の稼働率指数は99.2(前月比1.7%)と3か月連続の上昇。



(注) 紫色のシャド一部分は景気後退局面

製造工業稼働率指数への業種別寄与度分解

- 平成28年8月の製造工業稼働率指数は、輸送機械工業などが低下したものの、電子部品・デバイス工業などが上昇したため、前月比2.6%の上昇。

(季節調整済、前月比、%、%ポイント)

